

内閣府副大臣

鳩山 二郎 様

国の施策等に関する 提案・要望書

(令和6年11月)

鳥取県自治体代表者会議
鳥取県地方分権推進連盟

鳥	取	県	知	事	平	井	伸	治
鳥	取	県	議	会	議	長	晋	一
鳥	取	県	市	長	会	長	義	彦
鳥	取	県	市	議	会	議	長	章
鳥	取	県	町	村	会	長	英	人
鳥	取	県	町	村	議	会	議	政
鳥	取	県	町	村	議	会	議	長
鳥	取	県	町	村	議	会	議	長

地方創生のさらなる推進について

《提案・要望の内容》

- 日本創生に向け、人口減少問題を国の中心的課題に位置付け、東京一極集中を是正するための企業や大学、政府関係機関等の地方への移転・投資や移住定住を促進する「社会減対策」、少子化に歯止めをかける「自然減対策」及び中山間地域等の住み慣れた地域で希望を持って住み続けることができる「持続可能な地域づくり」について、真に実効ある政策を再構築し、国・地方協力のもと、幅広い国民と連携し、断行すること。
- 新しい地方経済・生活環境創生本部の下、「地方こそ成長の主演」との発想に基づき、大規模な地方創生策が議論されているが、地方創生の交付金については、地方創生の取組を一層深化、加速化できるよう大幅に増額するとともに、地方の意見を踏まえた制度の拡充、申請要件の緩和や使途の弾力的な運用などできる限り自由度を高めること。
- 物価高の長期化により、商工業や農林水産業などの幅広い事業者や生活困窮者等が引き続き厳しい状況に立たされていることを踏まえ、重点支援地方交付金の拡充など、総合経済対策に係る補正予算を早期に成立させるとともに、地域の実情や情勢に応じ、全国一律の支援が必要な各種エネルギーの価格抑制対策については国の責任において機動的かつ適切に実施すること。

【参考】

<東京都への転入超過数の状況>

- 東京都への転入超過数は、一時のコロナ禍を除き、一向にやむ気配はなく、さらに進んでいる。
※R5年の都道府県別の転入超過数は東京都が6万8,285人と最も多い。前年に比べ2倍以上(3万262人)転入超過数が拡大。
- 出産可能年齢層(15~49歳女性)が低出生率の東京へ転入超過している。
※東京都合計特殊出生率 R5:0.99(全国47位)

<出産可能年齢層(15~49歳女性)における東京都への転入超過数>

R元	R2	R3	R4	R5
53,513人	32,590人	22,281人	36,995人	47,758人

出典：総務省統計局住民基本台帳人口移動報告

地方への若者移住・定住促進に向けた支援制度の拡充について

《提案・要望の内容》

○地方においては、若者の転出が社会減の大きな要因となっている。Uターン就職や県内大学生の県内定着など地方での若者のキャリア選択・形成を促すため、経済的インセンティブとなる「奨学金返還支援制度」を地域が実情に合わせて柔軟に制度設計ができるよう財源措置を拡充すること。

○地方からの若者流出は高等教育機関の都市部偏在という構造的課題に因るところが大きい。都市部高等教育機関（主に大学）の地方移転は、高等教育機会の拡充、担い手育成、産学連携による地域経済への波及など持続可能な地域づくりに資するものであり、移転の促進や段階的に進めるための取組（キャンパス移転（サテライト含む）支援及び、都市部大学と地方自治体の関係構築・強化に資する取組等）に対する新たな財政支援を創設すること。

○また、急速に進行する少子化により、地方の高等教育機関は定員未充足や募集停止などが相次いでおり、今後、経営破綻や統廃合が進み若者流出の加速が懸念される。地方における高等教育機関の定員確保支援及び財政支援を行うこと。

<参考>

1 若者の県内定着状況

《高校卒業時》

- ・鳥取県内高校卒業生のうち、進学者が約8割、就職者が約2割
- ・進学者のうち鳥取県外進学が7割であり、県内高校生卒業生の6割が県外に流出

《大学卒業時》

- ・鳥取県内大学等卒業生の約7割が県外就職
- ・鳥取県外大学に進学した学生の県内就職率は約3割

2 鳥取県未来人材育成奨学金支援事業の概要（平成27年度から開始）

国が実施する、奨学金を活用した若者の地方定着促進事業を活用し、県と産業界が協力して「鳥取県未来人材育成基金」を設置し、県内に就職する大学生等の奨学金返還を助成し、I J Uターン及び産業人材の確保を推進している。

項目	概要
対象者	鳥取県内の対象業種に就職する次の奨学金を借り入れた大学等（大学、大学院、短大、高専、専門学校）新卒者及び既卒者（35歳未満）（※認定時に35歳未満であること） ア）日本学生支援機構第一種（無利子）及び第二種（有利子）の奨学金 イ）鳥取県育英奨学資金 ウ）その他の奨学金 ※出身地は問わず、県内外の大学等を対象
対象業種	ア）製造業、IT企業、薬剤師の職域（H27～） イ）建設業、建設コンサルタント業、旅館・ホテル業（H28に追加） ウ）民間の保育士・幼稚園教諭（H29に追加） エ）農林水産業（H30に追加） オ）理容師・美容師（R5に追加） カ）歯科技工士（R5に追加） ※関係業界の要望、寄付により随時業種を追加。
助成金額	無利子奨学金 総額の1/2（上限216万円、大学院・薬学部（6年制）の場合） 有利子奨学金 総額の1/4（上限108万円、大学院・薬学部（6年制）の場合）
財源	県、企業、産業界等からの寄付（関係業界、企業版ふるさと納税） ※特別交付税措置あり
特別交付税措置	対象：設置された基金に対し、都道府県が出捐した額及び制度の周知・広報のために支出した額（都道府県が、基金への出捐総額の1/2以上を出捐している場合は、出捐総額の1/2の額が対象） 措置率：0.5（上限1億円） その他：公務員として就職する者は支援対象外
利用実績（就職者）	872名（R6.9末現在） [県内大学等出身者257名、県外大学等出身者615名]
支出額（基金出捐額）	109,194,200円（令和6年度） 【内訳】県：101,194,200円、寄付金：7,990,000円

3 各年度県内就職者数（奨学金返還支援制度活用者数）

合計	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6 (9月末)
872	4	72	87	98	111	122	106	113	91	68

4 都市部大学のキャンパス誘致にも繋がる取組

《慶應義塾大学》 ※地域価値共創推進事業：4,000千円（R6年度当初予算）

・デジタル技術の活用による地域の魅力向上、地域課題解決を通じた持続可能な地域づくりに向けた取り組みとして、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)が主催する「未来構想キャンプ※」を令和4年度から本県に誘致。※高校生が地域課題解決をテーマに大学の知的活動の本質を体験する取組。

⇒未来構想キャンプでは、県内の事前に周辺地域の自治体・団体等を巻き込んだ地域研究及び地元関係者との課題抽出ワークショップ等を通じて、慶應義塾大学及び参加者と地域による持続的な関係づくり(関係人口創出)も包含した取組として実施。

【令和4年度：大山周辺エリア、令和5年度：日南町、令和6年度：鳥取市で開催】

《青山学院大学》 ※地域活性化活動支援事業：900千円（300千円×3研究）（R6年度当初予算）

・平成30年3月に地域活性化、教育研究活動の活性化、地域を支える人材の育成等を目的に県と青山学院大学とで包括連携協定を締結。毎年、県が設定するテーマに沿って複数ゼミが来県し活動を実施。

令和6年テーマ：「地域づくりや地域活性化に取り組む団体等の「知の創造」に関するもの」

令和5年テーマ：「地域づくりや地域活性化に取り組む団体等の人材育成に関するもの」

5 県内高等教育機関の定員及び定員充足率

		R元	R2	R3	R4	R5	R6
鳥取大学	募集人数	1,140	1,139	1,139	1,139	1,140	1,140
	入学者数	1,171	1,178	1,158	1,170	1,200	1,187
	充足率	102.7%	103.4%	101.7%	102.7%	105.3%	104.1%
鳥取環境大学	募集人数	276	276	300	300	300	300
	入学者数	299	306	315	323	320	325
	充足率	108.3%	110.9%	105.0%	107.7%	106.7%	108.3%
鳥取看護大学	募集人数	80	80	80	80	80	80
	入学者数	68	87	78	87	82	78
	充足率	85.0%	108.8%	97.5%	108.8%	102.5%	97.5%
鳥取短期大学	募集人数	300	300	300	300	300	300
	入学者数	269	289	278	255	264	202
	充足率	89.7%	96.3%	92.7%	85.0%	88.0%	67.3%

(参考) 近隣県の状況

- ・美作大学(岡山県)：短期大学部は、2019年度以降定員割れが継続しており、2025年度以降の学生募集を停止。
- ・武庫川大学(兵庫県)：短期大学部は、2025年以降の学生募集を全学部で停止。大学薬学部の2024年度入学生から定員を半減。

6 地域を担う人材の育成及び定着推進に関する協定書(R6.5.27締結)

- ・県と高等教育機関が連携して、地域を支え、地域で活躍する人材の育成及び定着の推進について取組む。
- ・令和8年度末における各高等教育機関の県内就職率の数値目標を設定

高等教育機関	実績	目標値		
	R5	R6	R7	R8
鳥取大学	23.1%	23.2%	23.3%	24.0%
公立鳥取環境大学	19.1%	25.0%	26.0%	27.0%
鳥取看護大学	70.5%	71.0%	72.0%	75.0%
鳥取短期大学	82.6%	83.0%	83.0%	83.0%
米子工業高等専門学校	14.6%	18.0%	19.0%	20.0%